

No. 1441

'82 データーショー

— 東京・晴海 —

多種、多様化する情報化社会のなかでますます高性能になっていくコンピュータシステム。「1982年データショー」が10月19日から4日間、東京晴海で開かれました。これは情報化月間である10月に毎年開かれているもので、今年で10回目、今回は127の会社が出展しました。会場内は本格的な情報化時代を迎えたのを反映してか見学者で超満員。各種のコンピュータシステム器機が所せましと並べられました。また、新製品の展示実演も披露されました。情報化社会のなかでコンピュータシステムが日常生活にも多く利用されている今日、この展示会の開かれた意義は大きいといえるでしょう。

鈴木政権、崩壊

「党の融和、清新で活力のある真の挙党体制を作りあげ、困難な時局を総力をあげて乗り切るため新しい党の指導者の登場を期待して、辞任する。」いさぎよいというか、無責任というか、再選間違いなしと思われていた鈴木首相は、10月13日首相官邸で記者会見し正式に退陣を表明した。昭和55年7月、急死した大平首相のあとを受け、第70代、44人目の首相に就任した鈴木政権2年3ヶ月の足跡。首相就任第一の公約、政治倫理の確立については、ロッキード事件の政治家被告に有罪判決があったにもかかわらず、具体策は何ら実施されなかった。最大の柱である行政改革は、第2次臨時行政調査会をスタートさせこれからが正念場という所でざ折。外交面では、「同盟関係」を表明した日米共同声明をはじめ、教科書問題など、外交手腕は発揮されず逆に国民の声とは反対に防衛力を増強、力傾化が目立った。先の訪中で、太極拳に励む鈴木さん、ついにバランスを崩し総裁の座を投げ出してしまった。

さて、この後は自民党のお家芸。“後継は中曽根で”“いや中曽根は絶対駄目だ”などと連日大にぎわい。“話し合いで決めよう”と党顧問会議。が結論は出ず、結局は、予想された中川、中曽根、安倍、河本の4氏が立候補。さてさて、どう結着がつくやら……。??